



冬物特價 提供

ニコン 一、〇〇
ふとん皮 七、五〇
自新モス 七、五〇
晒木綿 五、〇〇
正絹綿 九、五〇
白時雨面ネール 八、〇〇
一丈物 一、二〇
京都友染モス 一、二〇
外に格安品 二、二〇
豊富に取揃ひ候
三井呉服店
平町三丁目電話三三八番

外科

外科一般
耳鼻咽喉科
女性病科
×光線科
赤心堂病院
田町 電話四七五番

看護婦派出所

の求めに應ず
平町南町
看護婦會
電話三〇七番

イノキ食堂

美味評判
平町紺屋町(縣社通り)
オの部電話四六〇番



社 一部金武録
刊 五頁
紙 五頁
料 五頁
日 五頁
休 日
日 曜
大 祭
社 島 縣 石 郡 平 町 長 橋 三 五
行 所 常 警 日 報 社
電 話 六 三 〇 番

日刊 發行兼編輯人 川崎文治
本社下町番地(電話六三〇番)
印刷所 常警毎日印刷所

刊夕日八月一十

福島縣印伴天染同業組合組織を提唱しつゝある 草野染工場主

獨り染業家は申しません凡ての事業は組織的に經營する事即ち専門工程を聯絡統一して完全なる製品となす事が組織的に作製すると云ふ事其内でも染業は最も此點が必要であります。店主此點に痛感する事久しうして福島縣印伴天染同業組合組織を提唱して斯道の知人先輩福島縣工業試驗場長本間孫三郎氏に懇談し此の聲援によりて現在此組織を進行し實現の上は一層専門的に考究して福島縣産物の一に爲さんとすの決心であります。現在福島縣内に於て印伴天の専門分業に經營しつゝある店は草野染工場が嚆矢で現在又印伴天専門店は他に無いと存じます。草野染工場は十年前既に茲に着眼して印伴天専門印物染分業に經營して居るのであります。自他共に本縣印伴天染の先覺者を以て認めて居るのも宜なる哉であります。目下草野染工場は縣外千葉、新潟、神奈川、三重等に製品を輸出して居ります。將來は進んで北海道に樺太に遠征的に擴張し(印伴天は北海道は有望であります)充分本縣産物の優一なるものと努めんと致して居ります。夫れには左の條項が最も遠征的擴張の素質であります。草野染工場は之れを信條として經營しつゝあります故に決して他店に遜色ありません最近の世評に草野染工場と云へば印伴天を思ひ起し印伴天の話しをすれば草野染工場を聯想さるゝと云ふ事を皆様より申されませんが幸ひにも永年の努力左の弊工場の信條が發揮せられ草野染工場とは印伴天の代名詞となりまして遠近各位より絶大の歓迎を受けて居ります。

左の信條は確かに萬染物屋(何んでも染める染屋)を征服し得る素質でありまして草野染工場の今日ある次第であります。何卒御得意様には此點御諒承下さいまして他店染品と御比較の上弊工場の申上る事御認めの上不相變御引立を御願ひ申上げます。

◎草野染工場の信條及優良品の證明

一	元料購入ノ豊富	五	價格ノ廉價納品
二	大量製産	六	紺色合ノ優美 大紋赤ハ當工場の獨特
三	雨天乾燥場ノ設備	七	印伴天受賞ノ證明
四	注文品納期ノ確實	八	技巧者ノ聯絡統一

草野染工場の技巧組織

左の方法によりて技巧者の聯絡統一優秀品の作製せらるゝ事が證明されます

糊置師 中村利雄
同 松浦貫右衛門
同 金成保吉
意匠師 石川幸太郎
福島縣 西村印刷所主人 同
襟字揮毫 福島縣 西村印刷所主人 同
外染色部員 同



印半天
印染物

草野染工場
場主 草野七五三之助
電話 三三四八番



常警論壇

現内閣 失敗の數々
政界通人

嘗て加藤友内閣の當時時の藏相市來氏が一億一千萬圓の整理をするや野にをれる濱口氏は「一億一千萬圓の中五千萬圓は事業費の繰延べである繰延べは整理に非ず」と云つたが一度朝に立つや掌を返して八千萬圓の事業費を繰延べて整理だとは何事である、更に驚かざるを得ぬは七千萬圓經常費整理の内容を見るに四千萬圓は陸軍を減らし残りの三千萬圓は官吏の人員費の上及びした結果は五萬人と云ふ官吏の大臍首を行つたのであつて假りに家族五人ありとすれば爰に二十五萬人と云ふ多數の人々の生活を不安ならしめたのである、今一つは五十億の公債を採るが一億五千萬圓を五十一議會に於て募ることゝしたるが世間即ち一般から募るか募らぬかが問題になつたが一体十六億萬圓の歳入の内容は八億は租税に依り残りの八億は煙草印紙等の官業に依る利益と前年度剩餘金を以て之に充て、居るが、尙不足ある場合公債に依つて補ふのであるが現政府は公債は百圓と云ふ額面で有産階級から募るのであるが既に五十億の公債をれ自身が民間から事業費を奪つて居るものである、これ以上募るに忍びずと云つて居るがこれは是認するが政府は果して一億五千萬圓の歳入を何うするかと云へば二十萬圓は帝都復興債券として募り五千萬圓乃至六千萬圓は大藏省の預金部から求め残りは悉く五圓、十圓と云ふ小口公債にして郵便局の窓口から金持より募らす貧乏人の懐中から五圓の小口公債を買へ然らば抽籤の結果三千圓の割増金を與へると云つて射利心を煽るはこれ明かに綱紀肅正内閣にあるまじきことで嘗て競馬法や臺灣の富籤を禁止した政府としては實に矛盾極まるものであり、また斯の如きことは益々地方の金融を拘束する者である

常磐炭輸送用の 無蓋貨車を改造

空氣制動機附貨車の常備
運用率が振はぬ爲

鐵道局では常磐炭の輸送用として従来二三七〇〇號型六輪の無蓋貨車を使用してゐたが運用率が甚しく不良の爲め當局としては之れを轉屬する かの或は改造しては何うかの議が起り該貨車の過去一ヶ年間に於ける運用の實績や運用効率、及存廢に對しての意見等に就て考究してゐるが同車は去る大正七八年頃の財界好況時代に石炭の輸送が繁忙となつた當時炭礦の一般希望 にもよる爲に製作したものでその當時既に炭礦側では使用を厄介視してゐる傾向があつたが當時は一般に貨車が排底して配車も意の如くでなかつた處から證術なく使用したので相當に運用効率は良好であつた、然るに其の後事業が不振に陥つた關係で輸送界も 衰微するに伴つて漸次遊泊する期間が永引きその上本年春からは空氣制動機附の貨車を常備する事になつたので殆ど同車の必要は失くつたもので當局としても早晚改造する意向である

送別大演奏

聚樂館に催す

平町舊城跡に假寓中の山田流琴曲の大家上原眞佐喜氏は近く歸京すべき豫定である爲め來る二日同氏の送別大演奏會を聚樂館に催し其(純益を警城訓育院に寄附する事となつた由

土地調査が 豫定通り進行

平税務署では本年四月から

岡部署長以下廿名を總動員して土地賃賃價格の調査をしてゐるが同管内の各地目總計は四十余萬筆の多きに達し八月中大体内部的の調査を済まし九月から外部の實地調査に入つたがすつて

平消防組が 秋季檢閲執行

平消防組にては本日午前十

石城の鬼熊が川前 發電所附近をハイ クワイ

平署から警官隊急行

石城郡赤井村福島炭礦坑夫同郡小名濱町古港生れ小野初太郎(三)が石城郡内郷村宮警城炭礦坑夫根本顯隆(四)一方にあれば込み及渡り九寸餘の鋭利なる黒鞘短刀を揮つて同人及妻は(三)の兩名に頻死の重傷を負はせ逃走した事件あつたがその行衛については平署で非常線を張り引續き犯人嚴探中の處本日午後一時川前村發電所附近を徘徊中なる旨急報あつた爲め平署よりは

不義の棲重 慘劇迄の道程

別項初太郎が第二の鬼熊と

して一般から恐怖の念を抱かれるに至つた原因は同人は本年二月中警城炭礦坑夫として働いてゐる内後山婦と馴れ染め夫顯隆の

軌道延長は今や 全町の重大問題

長橋町區民大會を動機に
國道通過を熱望

順調に進行した今では平町山田村上下小川村湯本町の田畑と町部宅地を除きいづれもその編級調査がおね一般的成績良好で不平の聲もまかないといふ

町營住宅 審議

近く委員會に

湯本軌道を平町東部に延長すべき件に關しては既記の如く最も重大な關係を有する長橋町が區民大會を開いて議決の結果

射道の審査 來る十日に

東京大日本射覺院にては來

國道通過に變更されたことの意味を抱くに至り先づ各町の足並みを揃へて是れが實現を迫るの必要が生じた爲め昨(三)日引續き本日午後三時から開かれる筈であつた土木委員會に對し



カレーうどん

材料五人前乾うどん二把、牛肉五十匁、玉ネギ五十匁、カレー粉大匙一杯、バター又

顔面其の 他數ヶ所

に切りつけ其の場に昏倒せ

を樂んで居たのを七月中顯隆が嗅ぎつけ將來を戒めたが性が淫奔なはなは途に初太郎と謀し合せ八月六日夜手を携へ駆け落ちし前記福島炭礦に世帯を持つてゐたが最近仲裁者あり去る三日はなは顯隆の許に立ち歸つた處

初太郎は 兇行當日

五日午前中幾分酒氣を帯び

腹巻のドンブリに兇器を忍ばせ根本方を訪ねた處夫婦は恰も夜の出番なので二人同じ夜具に就寝中なるを覗き込み一層逆上したるものが矢庭に顯隆の頸部へ切りつけ深さ二寸餘の重傷を負はせ起さる同人に躍りか

徒歩旅行 平町の二青年

平町宇佐美松壽、石森正直

の如くである
開會の辭、矢渡式、各員禮射、古式禮射(午後一時大平院長)審査員禮射射道講評(院長)段位授與優秀賞與、閉會の辭
藥を賣つて

鐵道功勞表 慰安會にて

常磐線中、高萩間警越東線

平、小川郷開間の鐵道從業員慰安會は來る十三日より三日間平劇場で開催するが當日功勞者として東京鐵道局長より表彰されるものは左記諸氏である

濱名千松、堀内源吾、加藤保、鈴木佐一郎、大部正信、我妻半助、高和田幸太郎、椎名藤作、山崎喜平、黒澤準之助、金子金次郎、上野鐵之助、淺子彌兵衛、鹽田十五郎

建設の日近 松ヶ岡公園に

平町元警中校長植竹源太郎

氏の發起にかゝる故大越中佐の銅像建設は着々進んでゐるが建設の場所については松ヶ岡公園を適當とし町當局に請願去る五日の町會に付議されたが調査の都合で十日の町會に付議決定することとなつたが多分承認さるべく平町出身青年彫刻家赤堀信中氏の手に成る郷土の生る偉人雄姿を仰ぐの日も近づいた